

HEART to HEART



令和3年11月15日(月)発行

秋も深まり、会話科や外国語活動に関係する行事が増えています。今回は、10月から11月にかけて行われた行事について紹介します。

ふれあい文化教室

10月6日に、3, 4年生, 5, 6年生がふれあい文化教室で百人一首に親しみました。昨年度に引き続き中学年と高学年の時間を分けてスペースを取って行いました。宇都宮かるた会の方から百人一首と宇都宮市とのつながりについてのお話を聞いたり、競技かるたのデモンストレーションを見せていただいたりしました。6年生は今年で4回目のふれあい文化教室となりましたが、かるた会の方の動きの速さに驚き、最後に行われた札を使った競技では自分たちも札を思いきり飛ばそうと意欲を高めていました。百人一首への愛があふれる児童の様子が見られました。



子どものアイデア溢れる外国語活動・タブレットを使用した外国語科

(3年生外国語活動・6年生外国語科研究授業)

10月20日に、宇都宮大学より指導者を招き、3年生の外国語活動と6年生の外国語科の研究授業を行いました。

3年生は、担任やAETの話から形の言い方をインプットしたり、形を組み合わせて絵を作ったりしながら英語に親しみました。自分の欲しい色や形を英語で伝えられる児童もいました。

6年生は、職業や出身地、できることなどから人物紹介の仕方について学びました。7月からタブレットを使って教科書の動画を各自のペース、方法に合わせて視聴して学んでいます。よりよい学びにするため、授業後には教員が授業研究会をもち、タブレットの使用方法などについて話し合いました。



3, 4年生の朗読発表会



11月6日に3, 4年生がミニ学習発表会の中で朗読発表会を行いました。10月から朗読のご指導をいただいている小田島先生や保護者の皆様にお聞きいただいていた発表会となりました。

「外郎売(うしろうり)」の発表に続き、3年生は栃木の民話を5作品、4年生は「こんごつね」の作者である新美南吉さんの物語を6作品発表しました。

4年生は、昨年学習したことに加え、聞いている人が物語を想像できるように、間の取り方や抑揚の付け方など、役になりきる読み方をご指導いただきました。本番では、一人一人が練習の成果を発揮して、ナレーターや登場人物になりきって発表することができました。

3年生は、姿勢や基本的な声の出し方に加え、美しい日本語を使うこと、抑揚や速さ、視線など、聞いている人に話の内容が伝わるような「語り」をするようご指導をいただきました。本番では、練習の成果が発揮され、小田島先生から「一人一人が聞き手を意識して語ることがきちんとできていた。」とお褒めの言葉をいただきました。「相手を尊重する」というコミュニケーションの基礎ともいえる部分を学ぶことができました。

